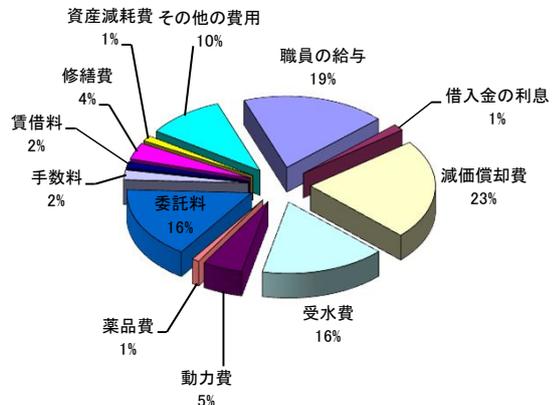


## 平成30年度水道事業決算状況

私たちの生活に欠かせない水道水をご家庭にお届けする水道事業は、水道料金の収入を主な財源として、独立した会計で運営しています。そのため水道事業会計は、税金を財源とする一般会計と区別し、「特別会計」とされています。  
町議会において、平成30年度の決算が認定されましたので、その状況についてお知らせします。

	1㎡当たり費用額 (円)
職員の給与	39.45
借入金の利息	3.09
減価償却費	47.78
受水費	34.21
動力費	10.97
薬品費	1.98
委託料	34.24
手数料	4.57
賃借料	3.11
修繕費	7.96
資産減耗費	2.68
その他の費用	21.28
計	211.32

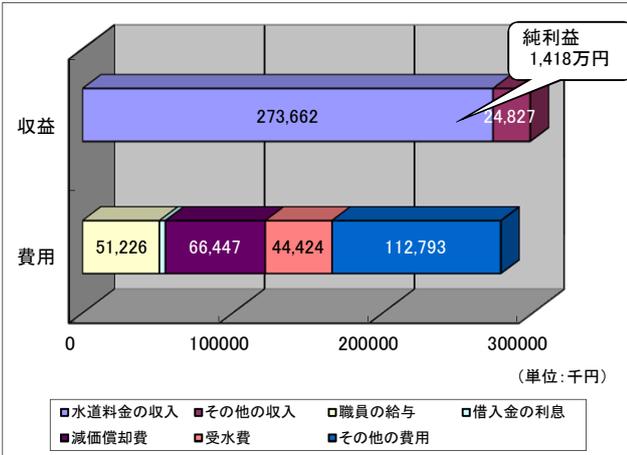
水道水1㎡当たりの費用 211円32銭



### 収益的収支・・・水をつくり、ご家庭にお届けするための収支を表したものです。

※平成30年度決算においては、1,958万2千円の純利益となり、繰越欠損金は3,921万3千円に減少しました。

(単位:円)		
収益(収入)	水道料金の収入	273,662,195
	その他の収入	24,826,926
費用(支出)	職員の給与	51,226,392
	借入金の利息	4,016,235
	減価償却費	66,447,453
	受水費	44,424,329
	その他の費用	112,792,745
	賃借料	3,110,000



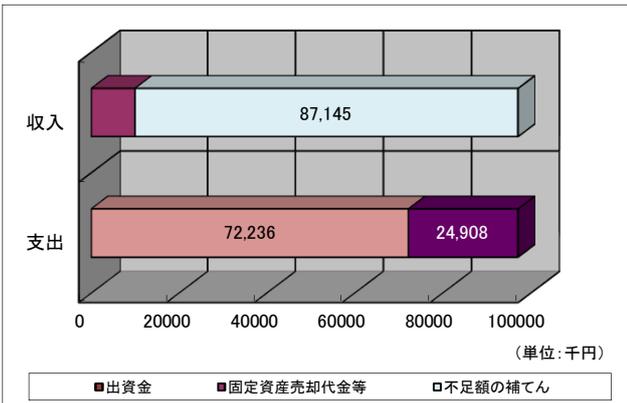
※受水費・・・埼玉県企業局からの県水購入費  
※減価償却費・・・水道管などの資産の使用時の経過によって生じる減耗分を費用化

(単位:円)	
収入	298,489,121
支出	277,307,924
<b>純利益</b>	<b>19,581,967</b>

### 資本的収支・・・浄水場の改良や水道管の布設など施設を整備拡充するための経費と財源です。

※資本的収支の収入は、国、県または町(一般会計)などからの負担金、出資金及び補助金などであり、支出に対する不足額は、実際の現金支出がない収益的支出の減価償却費など(過年度分損益勘定留保資金)で補てんしました。

(単位:円)		
収入	企業債	0
	出資金	0
	不足額の補てん	87,144,720
	固定資産売却代金等	10,000,000
支出	建設改良費	72,236,383
	企業債償還金	24,908,337
	有価証券購入費	0



## 平成30年度に行なった主な建設改良事業

(単位:円)	
大谷地内石綿管更新更新工事(繰越)	19,440,000
大谷地内石綿管更新更新工事	22,593,600
大満低区送水施設更新更新工事(繰越)	4,140,000
上野地内石綿管更新更新工事	4,968,000
黒岩地内石綿管更新更新工事	1,566,000
黒山地内配水管布設替工事	959,040
膜ろ過施設自動弁交換工事	1,663,200
消火栓更新に伴う舗装本復旧工事	270,000

## 有収水量と純利益・給水人口と有収水量の推移

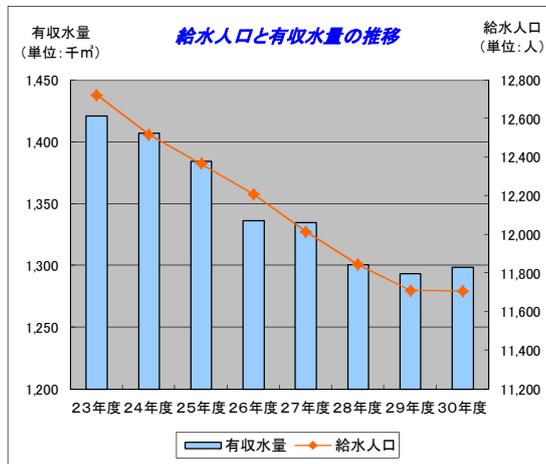
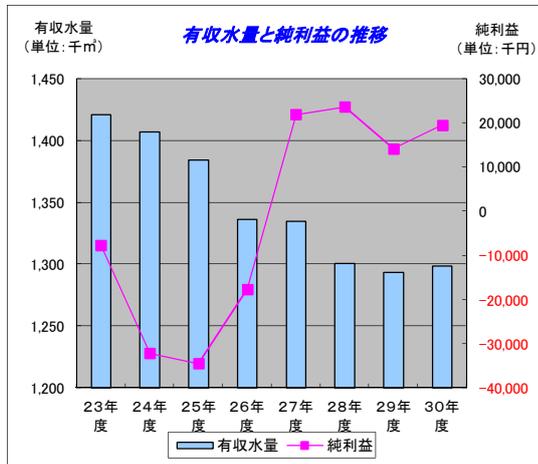
下記のグラフは、過去8年間の有収水量(使用水量のうち料金収入の対象となった水量)と、純利益(収益的収支の収入と支出の差額)及び給水人口の推移を示しています。

水道料金が収入の9割以上を占めているため、有収水量の増減が純利益に与える影響が大きい状況にあります。

有収水量(水需要)は、近年の節水意識の向上並びに人口の減少などから年々低下しております。

一方、純利益は、平成22年度まで黒字決算となっておりますが、平成23年度から赤字に転じ減価償却費が増大する反面、給水収益の減少に伴い平成26年度まで赤字となっております。このような状況のなか、赤字解消を主な目的とし平成27年4月より料金改定を行い、平成27年度決算から黒字に転じ、平成28年度から平成30年度現在まで黒字となっております。

水道事業は、安全な水を安定して供給するために、老朽化が進む施設の更新整備が不可欠であり、これに必要な額の純利益が将来にわたって確保されなければなりません。これからも引き続き経営改善を図ってまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



## 平成30年度 越生町水道事業 貸借対照表・損益計算書

### 《貸借対照表》

貸借対照表は企業の財政状態を明らかにするため年度末において保有する全ての資産、負債及び資本を総括的に表した報告書です。

資産の部		負債の部	
固定資産	1,420,283,652	固定負債	78,895,520
有形固定資産	1,400,463,652	企業債	78,895,520
無形固定資産	9,820,000	流動負債	82,358,347
投資	10,000,000	企業債	21,038,865
流動資産	358,609,078	引当金	5,531,000
現金預金	334,383,866	未払金	55,706,972
未収金	16,078,500	預り金	37,939
貯蔵品	8,346,712	前受金	3,747
その他流動資産	△ 200,000	その他流動負債	39,824
		繰延収益	127,949,689
		長期前受金	449,652,410
		長期前受金収益化累計額	321,702,721
		負債合計	289,203,556
		資本の部	
		資本金	1,213,863,600
		自己資本金	1,213,863,600
		剰余金	275,825,574
		資本剰余金	23,807,410
		利益剰余金	252,018,164
		資本合計	1,489,689,174
資産合計	1,778,892,730	負債・資本合計	1,778,892,730

### 《損益計算書》

損益計算書は一事業年度における企業の営業成績を明らかにするために、その年度中に得たすべての収益からそれを得るために要した費用を記載し、純損益を表示した報告書です。

収入の部		支出の部	
営業収益	292,286,184	営業費用	274,808,128
給水収益	273,662,195	原水及び浄水費	109,095,400
受託工事収益	13,489	配水及び給水費	38,444,030
その他の営業収益	18,610,500	受託工事費	13,489
営業外収益	6,176,504	総係費	57,328,088
受取利息	90,997	減価償却費	66,447,453
他会計補助金	1,274,258	資産減耗費	3,479,668
長期前受金戻入	4,408,373	その他営業費	0
雑収益	402,876	営業外費用	4,024,375
特別利益	26,433	支払利息	4,016,235
固定資産売却益	0	雑支出	8,140
過年度損益修正益	26,433	特別損失	74,651
		固定資産売却損	0
		過年度損益修正損	74,651
		支出合計	278,907,154
		当年度純利益	19,581,967
収入合計	298,489,121	合計	298,489,121